

## 注意点1



右手

### 奇数を偶数で割るから大変!? 3連符のオルタネイトについて

この曲のような3連系フレーズは、フレーズ自体が簡単に見えても、オルタネイト・ピッキングの順番が変化していくので注意が必要だ(図1)。例えば「Intro」3小節目で説明すると、1拍目はダウンから弾き始めるが、2拍目のアタマはアップになる。そして3拍目のアタマはダウン、4拍目のアタマはアップと言うように、拍子ごとに最初のピッキングがダウン/アップと交互に入れ替わるのだ。つまり「ダウン・アップ・ダウン」と「アップ・ダウン・アップ」という2種類の組み合わせになる。基本的に各拍子のアタマで足踏みを入れるのだが、2 & 4拍目では足踏みのタイミングがアップ・ピッキングになるので注意しよう。

図1 3連オルタネイト・ピッキング

※1 & 3拍目のアタマはダウン・ピッキング、2 & 4拍目のアタマはアップ・ピッキングになる。

## 注意点2



右手

### ピッキングの軌道に注意して スキッピングを攻略しよう!

「D」のインサイド・ピッキングによるスキッピングの軌道には注意が必要だ(図2)。1弦をダウン・ピッキングした後に2弦を跳ばして3弦をアップ・ピッキングするが、この時に誤って2弦にピックが触れてしまうことがある。これは1弦から3弦に向かうピックの軌道が低すぎるのが原因だ。一方、ピックの軌道が高すぎることも気をつけたい。この場合、動きに無駄が増えるので、テンポに乗り遅れてしまいかねない。3連系フレーズは、特にノリが難しいので、タイトなリズムを心掛けるとともに、ピックの軌道に細心の注意を払おう!

図2 インサイドのスキッピング

ダメなパターン①

ダメなパターン②

OKなパターン

2弦をミス・ピッキングしてしまう。

無駄が多いのでテンポに遅れる。

安定したピッキングが行なえる。

## 注意点3



理論

### ポリリズムを活用した 少し複雑なキメに挑戦せよ!

「Intro」13 ~ 14小節目は、ポリリズムを活用したキメ・フレーズになっている。ポリリズムとは、複数の異なるリズムが同時に演奏されるリズム技法。このキメ部分では2種類のリズムが混在して、本来は8分音符3音×4セットの4拍子だが、8分音符3音+8分休符1音×3セットの3拍子としても聴こえてくる。そのためマジックを掛けたようなトランス感が漂うのだ。弾きこなすためにはもとの4拍子のパルス(ビート)を感じたまま、一時的に3拍子を弾くようにすると良いだろう(図3)。その際に、リズムを口ずさんでみる【註】と弾きやすいはずだ。

図3 ポリリズム風キメ・フレーズの仕組み

【リズムを口ずさんでみる】リズムが口ずさめなければ、そのフレーズ内容を理解したとは言えない。特にリズムがよくわからない時などは、フレーズを何度も聴き込んで、まずはロキターからマスターすると良いだろう。